

公益社団法人 小豆島青年会議所 2026年度

島魂委員会 事業概要書

委員長 井上 大輔

<p>事業背景</p>	<p>1. わんぱく相撲 小豆島の人口減少が進む中、「子供たちが多様な経験を積むことによる心・個性の育成」の機会を絶やすことなく、様々な形で機会を提供することが必要であると考えます。</p> <p>2. 55周年記念式典 今日、アカデミー会員比率が増加する中、小豆島青年会議所の歩みと先輩方からの教を学ぶ機会が十分とは言えません。現役メンバーが先輩方から学びを得る機会を増やし、成長につなげる機会の提供が必要であると考えます。</p> <p>3. 55周年記念事業 小豆島の課題は、人口が減ることそのものではなく、人と人とのつながりが弱まり、島への愛着や誇りが薄れてしまうことです。こうした所属感の不足は人の幸福に直結するため、人口縮小期の地域ほど意識的に島の物語や歴史を自分ごととして受け止められる機会を提供することが必要であると考えます。</p> <p>4. 一徳国際青年商會との交流事業 2019年より続く一徳国際青年商會とのご縁について、懇親にとどめるのではなく、島の将来や地域課題の解決にどう結びつけるのかを整理し、地域にとっての意義を明確にしていくことが必要であると考えます。</p>
<p>事業目的</p>	<p>1. 島の子どもたちが、勝ち負けにかかわらず「本気で挑戦した経験」と「礼節を重んじる姿勢」を体験的に身につけることが大事だと考えます。</p> <p>2. 小豆島青年会議所の歴史・主な運動・先輩方の思いを共有し、青年会議所の各種活動の気運を一層高めます。</p> <p>3. 小豆島の歴史と、島の人々が積み重ねてきた営みを可視化し、島民・若い世代・島外の関係者が「小豆島という共同体に属している感覚」を共有します。</p> <p>4. 「島」という共通点を持つ海外の若者と共に、自分たちの地域を相対的な視点から見つめ直し、メンバーの視野を広げ、成長につなげます。</p>
<p>活動概要</p>	<p>1. わんぱく相撲（5月、6月、8月）</p> <p>2. 55周年記念式典（9月）</p> <p>3. 55周年記念事業（11月）</p> <p>4. 一徳国際青年商會との交流事業（4月、5月）</p>
<p>目標</p>	<p>1. アンケートにおいて 満足度 95%</p> <p>2. 式典への現役メンバー参加率 80%</p> <p>3. アンケートにおいて 満足度 95%</p> <p>4. 交流事業への参加率 80%</p>
<p>政策手法</p>	<p>1. 小豆島相撲連盟主幹による大会運営のサポート</p> <p>2. 55周年記念式典の実施</p> <p>3. 55周年記念事業の実施</p> <p>4. 一徳国際青年商會との交流事業の実施</p>
<p>パートナー</p>	<p>1. 小豆島相撲連盟、(公社)坂出青年会議所</p> <p>2, 3. 小豆島青年会議所シニア会、(公社)日本青年会議所四国地区香川ブロック協議会</p> <p>4. 一徳国際青年商會、(公社)日本青年会議所四国地区香川ブロック協議会</p>